

都祁公民館だより

発行 公益財団法人
 奈良市生涯学習財団
 都祁公民館
 奈良市針町2191番地
 TEL&FAX 82-1362
 発行責任者 植田 隆

「目にも青葉・・・」ちよっと!

館長 植田 隆

都祁の里も季節が進み周りの山の木々の若葉も色がだんだんと濃くなってきました。まさに「目にも青葉山ホトトギス・・・」にふさわしい季節になりました。

そんな中、都祁公民館主催の講座でトップを切って行ったのが「都祁散策（貝那木山城（通称：城山）」でした。三陵墓古墳のつげまる君に会い、城山に登り昼食、国津神社、雄神社を巡りました。天候も良く自然に囲まれた緑の木々の間を歩き、きれいに稲が植えられた水田の横を歩いて神社に参拝しました。



（城山山頂からの都祁の里）
 ハイキングの途中であれと思うことがありました。広葉樹林はあざやかな新緑、針葉樹林は深い緑です。なのに先ほどの

俳句では、「目にも青葉・・・」となっています。緑葉ではなく青葉です。そういえば信号は「青信号」ですね。緑信号とは言いません。なんか変ですね。他にも緑色をしているのに「青」と言うものがたくさんあります。例えば、「青リンゴ」「青菜」「青梅」「青豆」「青梨」「青海苔」「青汁」

「青じそ」「青ねぎ」「青麦」「青々と茂る」「青葉」「青虫」「青木」「青竹」「青畳」「青苔」「青物」「青果」「青松」「青桐」「青瓢箪」などたくさんあります。

なぜ緑色なのに青と書くのでしょうか。それはこういう事です。古代の日本語には色を表す形容詞が「白」「赤」「青」「黒」の四つの言葉で全部の色を表現しなければなりません。このため四つの形容詞は、現在の「白」「赤」「青」「黒」より表現する範囲が広く、奈良時代や平安時代の「青」は現在の緑色から紫色、灰色までも表す言葉になっていました。

奈良時代や平安時代の「青」の形容詞が緑色を表す言葉であったため、その名残が今も残っているからだそうです。

都祁散策から話がだいぶそれましたが、散策の様子は公民館だよりや、生涯学習財団の都祁公民館のホームページにも載っています。一度ご覧下さい。



また、今年の講座は始まったばかりです。今からでも間に合います。参加しませんか。

公民館講座のご案内

夏休み！ おやこ陶芸体験

夏休みに仲良く親子で陶芸体験！

日時：7月25日（金）
 午前の部 10時～12時
 午後の部 14時～16時

場所：都祁公民館 実習室1・2

内容：初歩的な陶芸を学ぶ

講師：陶芸家 稗田真理子さん

対象：都祁地域在住の小学生と保護者
 午前・午後それぞれ 20人
 費用：ひとり 700円（材料費）

〆 切：7月15日（火）

持ち物：手拭タオル、飲み物



つけ女性セミナー 女性の為の陶芸教室

自分で作った作品で生活に潤いを！！

日時：第1回 7月5日（土）
 第2回 8月2日（土）
 各回とも14時～16時

場所：都祁公民館 実習室1・2

内容：第1回 作品作り
 第2回 絵付け

講師：陶芸家 稗田真理子さん

対象：都祁地域在住・在勤の成人女性 15人
 費用：1,000円（材料費）

〆 切：6月15日（日）

持ち物：エプロン、手拭タオル、飲み物

都祁高齢者学級 陶芸体験

自分好みの力作をつげまつりに出展



昨年作品

日時：7月4日（金）
 14時～16時

場所：都祁公民館 実習室1・2

内容：自分好みの作品作り
 講師の皆さんの親切な指導有

講師：伊賀焼大内窯の皆さん

対象：都祁地域在住で60歳以上の方々
 費用：2,600円（材料費）

〆 切：6月25日（水）

持ち物：手拭タオル、飲み物

こんな講座がありました！（公民館主催講座）

都祁散策

貝那木山ハイキング

散策の五月十八日は天候にも恵まれ春風の爽やかな中、二十九名の参加者があり、都祁の里を満喫することができました。貝那木山山頂からの眺めは最高でした。

案内人に奈良市文化振興課植松さんを招き、また、都祁スポーツ協会のサポートを受けて、貝那木山城跡と付近の神社など、説明を受けながら、ゆっくり歩くことができました。



貝那木山城跡（頂上）



ああしんど！あと少し

◆参加者からは
・ 今回のようなハイキング等の回数を増やしてほしい。
・ 車でよく通るが散策したことがなく、ゆっくり歩けて良かった。
・ 歴史について良く解かった。
・ 場所、季節等大変良かった。
・ 更に都祁の歴史、文化に興味を持った。
・ 地元民ですが、通称の知識の外、正規の説明は最高であった。
・ 野草や花に詳しい人が案内人に加わってもらえば嬉しい。
などの声が聞かれ成功裏に終わりました。

都祁高齢者学級

手軽にできる

于エアーエクササイズ

五月二十三日（金）第一回都祁高齢者学級を開催しました。

講師に、健康運動指導士、大谷恵子さんを招き、手軽にできる于エアーエクササイズの指導を受けました。



持に役立つ盛り沢山の内容でした。

講師先生の笑顔で楽しい会話をまじえた指導で、受講者も笑顔と、笑い声のたえない高齢者学級となりました。

次回の都祁高齢者学級は、七月四日（金）十四時から、伊賀焼大内窯の皆さんを講師に迎え陶芸教室を開催します。

自分好みの作品を作り、「つけまつり」に出展しましょう。講座の案内は反対面に掲載していますので六月二十五日まで公民館へ申込み願います。なお、高齢者学級未申込者のご参加大歓迎です。

プチ田舎暮らし

草もち

五月二十五日（日）「プチ田舎暮らし」草もち作りを行いました。

「よもぎ」は、私たちの一番身近な山菜のひとつです。昔は、よもぎ餅をお雛様にお供えしました。香り高く繁殖力の強いよもぎを餅にして子孫繁栄・無病息災を祈るためです。

まずは、近くの田んぼの土手でよもぎの若葉の摘み取りです。公民館に持ち帰り、ゴミを除き水洗いして、重曹を入れたお湯で湯がきます。良い香り、良い色合い、わいわいがやがや和やかな中作業は順調です。



よもぎの摘み取りの様子

いよいよ、おもちや団子作りです。皆で力を合わせこねます。最後に丸めて出来上がりです。

◆参加者からは
・ 時期に合った内容で参考になった。
・ 思ったよりも簡単で楽しかった。家でも作りたい。
・ よもぎの茹で方が勉強になった。
・ 田舎の良さを満喫できた。などの声が聞かれ、開催の趣旨である風土と歴史に根ざした食・農・技の体験、文化と人の交流を図ることができました。



餅作りを合せて力を皆で

◆黄楊俳句会◆

普段着の舞妓と会ひぬ花の冷え

あおき あきお

潮うずき鳴門の潮の逆さ渦

今 ただし

啓蟄や世間が少しずつ動く

今岡 和子

花ばなの外れて節あり田原坂

山下 敬輔

種々の種子時きて夢見る春一日

瀬川 富貴子

絶景や畑菜の花咲き乱る

三宅 貞夫

風光る助け合いの輪献血車

三宅 修子

公民館利用者へお願い

去る五月公民館駐車場において、利用者の車が「車上荒し」の被害を受けました。駐車される時は、車内に貴重品等は置かないようお願いいたします。

編集後記▼梅雨の語源は「梅」の実が熟する頃であることからの説や、この時期は湿度が高く「カビ」が生えやすいことから「黴雨（ばいう）」でこれが同じ音の「梅雨」に転じたという説、この時期は「毎」日のように雨が降るから「梅」という字が当てられたという説などがある。

梅雨期は大雨による災害の発生しやすい時期です。防災意識を持って備えたいものです。